

協力: 風早活性化協議会

オオキチくん通信

こんにちは! オオキチくんつうしんは
2年目にとつにゆうしました!
こんかいは、どんな調査(ちょうさ)
をしているか、せつめいするよ!

2020年1&2月号

発行: NPO法人森からつづく道

URL: <http://morimichi.org/>

★上記HPからダウンロードできます

独立行政法人環境再生保全
機構地球環境基金の助成を
受けて作成しています。



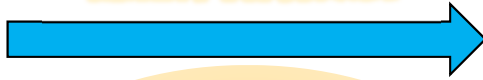
こんな調査をしました! ①オオキトンボにマーキング



6月末~7月にマーキング

ひょうしきさいほかくほう

標識再捕獲法



わかったこと!

- ①もっともオオキトンボがたくさんいるT池のオオキはふつうよりひとまわり小さいサイズである。
- ②秋にT池に産卵に来るオオキトンボには、T池生まれの小さいサイズとふつうサイズがいる。
- ③マーキングしたオオキトンボが3頭帰ってきた!



2017年10月に
T池で、3頭がふ
たたび確認・捕
獲されました。



【方法】(1) T池で羽化(うか)したばかりのオオキトンボをつかまえる
(2) 翅(はね)に油性マジックで印をつけて(マーキング)、体のサイズをはかり、記録(きろく)する (3) はなす

オオキトンボの数を調べるために、「マーキング調査」を2017年から始めました。その結果(けっか)、標識再捕獲法(ひょうしきさいほかくほう)を用いると、2017年はオオキトンボが風早地区全体で約68,000頭、T池では約34,000頭とすいそくされました。しかし、2018年・2019年は羽化(うか)数が少なかったために、十分に調査を行うことができませんでした。

「マーキング調査」のように地道な調査を行うことが、オオキトンボの保全のためにとっても重要です。(by 橋越・豊田)



つばきは
松山市の
花だよ!

イベント案内★つばきの実 de ストラップ&ねずみ!

つばきの実とビーズでストラップを作ってみませんか?
今年のえとのねずみは、つばきの実の皮で作るよ!

【日時】2月29日(土)10~12時
 【場所】北条鹿島 かしまーる(北条辻)
 【対象】小3以上(小2以下は保護者同伴)先着20名
 【料金】100円 ※駐車場利用者は別途310円必要
 【申込】2月12日(水)までに、電話かファックスで、
住所、名前、ねんれい、電話番号を、次の連絡先へ
風早活性化協議会事務局(坂の上の雲まちづくりチーム内)
 TEL 948-6991(開庁時のみ) Fax 934-1821

★ ちゅうせんで7人に、17しゅるいの木の実工作セット
をプレゼント! ハーバリウムたいけん工作もあるよ! ★

あのムシは今?! 【シロアリのなかま】



(2020年1月撮影)

シロアリ類(るい)は、神社(じんじゃ)やお寺の森など、野外(やがい)でも普通にみられる昆虫です。手でつかんでくずれるような、やわらかい朽木(くちき)をわると、見つかります。ちなみにシロアリは、名前に「アリ」とつきますが、実はアリとは関係がなく、ゴキブリに近いなかまです。(久松定智)

まつぼっくり コレクション *ヒマラヤスギ*



ヒマラヤシーダーともよばれる木のまつぼっくりは、高さが6~12センチくらい。タマゴのような形で上を向いて枝に付きます。熟(じゅく)すると、木にあるうちにバラバラになって、まつかさの間にあるタネを風に飛ばします。写真の部分(ぶぶん)は残った先っぽで、バラの花のようです。



春の七草

1000年以上も昔から正月7日に7種の野草を入れたおかゆを食べて一年の健康を願う風習(ふうしゅう)があります。もともとは旧暦(きゅうれき)の1月7日なので、今の2月上旬の行事です。冬の野原で七草のいくつかをさがしてみましょう。

七草とは:セリ、ナズナ、オギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ(コハコベ)、ホトケノザ(コオニタビラコ)、スズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)

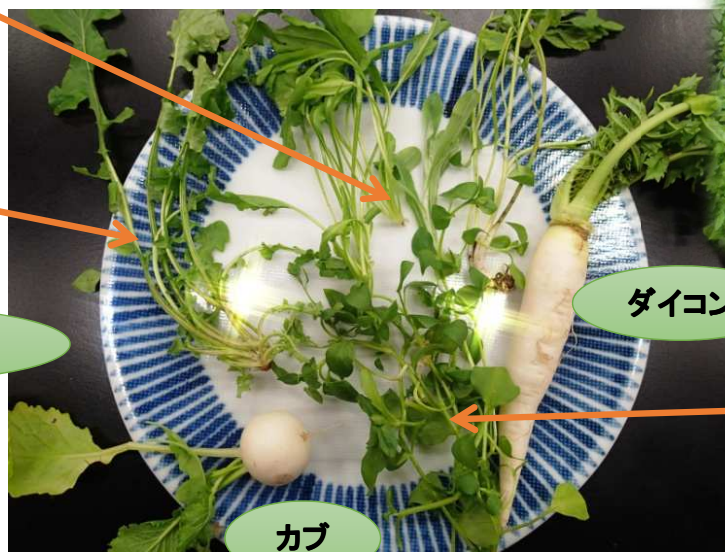


ハハコグサ



コオニタビラコ

ナズナ



ダイコン

カブ



セリ



コハコベ

★ナズナやコオニタビラコは、地面に広がっている葉(ロゼット葉)がやわらかい。現在のホトケノザは、シソ科で別種(べっしゅ)です。

料理: 細かくきざんでおかゆに入れて3分ほどにたらできあがり。

風早の景色



土手焼き(どてやき)が終わったため池に、早くも菜の花が咲き始めています。春先の水入れ、土手の草刈り、水の高さの調整(ちょうせい)、二度目の草刈り、土手焼き、水の排水(はいすい)と池干し。ため池の管理(かんり)は一年間たいへんです。



今月の植物 ★ スイセン (水仙)

古くに中国を通してやって来たヒガンバナ科の多年草で、庭や人家そばで見られます。冬にいい香りの花をつけます。学名はギリシャ神話の美少年ナルキッソスに由来(ゆらい)するロマンに満ちた植物です。しかし、全体に毒があるので、決して食べてはいけません。風早地区では、ラップズイセン、キズイセンなども野外で見られます。

そうやったんかい! 外来生物 ⑪

アワダチソウゲンバイ



(カメムシ目)

体長: 4mmほど

北アメリカ原産のカメムシ。名前の「アワダチソウ」は、セイタカアワダチソウの葉で集団で汁をすうことから、「ゲンバイ」は、すもうで使う軍配(ぐんばい)に形が似ているところからつきました。キクやヒマワリなどキク科の葉をからすため害虫あつかいされています。

汁をすわれた葉は白っぽくなるよ

ちょっと
いっぶく



千手杉(せんじゅすぎ) 高縄寺(たかなわじ)のうらある大木。名前は枝をのばした姿が千手観音(かんのん)ににているから。